

<三ヶ日西小学校>

小学校 外国語活動・外国語 授業指導案

日時 平成28年10月18日(火)
 都道府県名 静岡県
 学校名 浜松市立三ヶ日西小学校
 指導者 村田友香
 学級 6年3組 (児童数25)

単元名 Hi, friends2 Lesson5 Let's go to Italy. 友達を旅行に誘おう。

単元目標 “Where do you want to go ?” や “I want to go to ~.” の表現を用いて、友達に行きたい国について尋ねたり、答えたりすることができる。また、既習表現を使って、それぞれの国で、「見ることができる場所」や「食べることができる名物」を伝えることができる。

単元評価規準 “Where do you want to go ?” や “I want to go to ~.” の表現を用いて、友達に行きたい国について尋ねたり、答えたりすることができたか。

話し・表現 “Where do you want to go ?” “I want to go to ~.” “In (), you can ~.”

単元計画 (1時間)

時	目標と主な活動	評価		
		コ	慣	気
1 2	(本時の目標) 「オレンジ旅行会社」でのやりとりに使う表現に親しむ。 (本時の主な活動) ・単語に親しもう「レッツセイゲーム」「ポイントゲーム」 ・「おはじきゲーム」	○	○	◎
3	(本時の目標) 「オレンジ旅行会社」でのやりとりに使う言葉を、国別にマッチングすることができる。 (本時の主な活動) ・単語に親しもう「レッツセイゲーム」 ・「マッチングゲーム」	○	◎	○
4 5	(本時の目標) 「オレンジ旅行会社」で接客に使う表現に親しみ、使うことができる。 (本時の主な活動：4校時) ・使用する英文に親しむ。・ペアワーク(隣の人) (本時の主な活動：5校時) ・「オレンジ旅行会社」でスタッフ役、お客さん役となり、どこの国に行きたいか会話をする。	◎	○	○
6	(本時の目標) Let's Listen や Activity のビデオやリスニングを通して、それぞれの国の特色について確認する。 (本時の主な活動) ・ Let's Listen ・ Activity	○	◎	○

<評価の方法>
 コ：単語に親しもうで、積極的に英語のゲームに取り組んでいる。
 慣：教師の話す英語を聞き、国名や、様々な国の見どころ、食べ物について興味をもって聞いている。
 気：様々な国の食べ物の中に、日本でも親しまれているものや、初めて聞く食べ物があることに気付いている。

<評価の方法>
 コ：マッチングゲームに、友達と協力しながら積極的に参加している。
 慣：マッチングゲームで、写真を見てそれがどこの国の何であるか言おうとしている。
 気：場所・食べ物を国名と結びつけてマッチングしている。

<評価の方法>
 コ：「オレンジ旅行会社」での会話のやりとりに積極的に取り組んでいる。
 慣：それぞれの役で使用する表現を使って、友達とコミュニケーションしている。
 気：それぞれの国ごとに、適切にお勧めの場所や食べ物を相手に伝えている。

<評価の方法>
 コ：リスニングで聞き取った内容をテキストに記入したり友達に伝えたりしている。
 慣：「オレンジ旅行会社」で自分が使った表現に注意をして、聞き取るようとしている。
 気：前よりも、聞き取ることのできる表現が増えていることに気付く。

本時の授業指導案

時	児童の活動	指導者の活動	活動の種類	準備物
3分	挨拶 デモンストレーションを見て、本時の活動を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> • どちらがスタッフ役か視覚で分かるように小道具を使う。 • 「オレンジ旅行会社」でのやりとりをALTとJTEで行う。 	TT-SS	絵カード パンフレット スタッフカード
10分	ウォームアップ(Review Time)	<ul style="list-style-type: none"> • 絵カードを使ってそれぞれの表現を確認する。 	TT-SS	絵カード
30分	「オレンジ旅行会社」で行きたい国について尋ねたり、答えたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 時間になったら、にスタッフ役とお客さん役を交代して行うよう指示する。 • 戸惑っている子のサポートをする。 (できるだけ多くの子と関わることのできるようにワークシートを準備する。)	S-S ペアを変えながら活動	パンフレット スタッフカード
2分	次時の見通しをもつ。 あいさつ	教師が活動の様子についてコメントをし、良かったところをを振り返る。 ALTも児童にコメントをする。	TT-SS	

<評価の方法>

コ：単語に親しもうで、積極的に英語のゲームに取り組んでいたか。(観察)

慣：単弁で使用する表現を使って行きたい国について尋ねたり、答えたりしていたか。(観察・自己評価表)

気：それぞれの見どころや食べ物がこの国のものか知ることができたか。(自己評価表)

記入例

時	児童の活動	指導者の活動	活動の種類	準備物
3分	・挨拶をする。	・全員に挨拶をした後、数名の児童に挨拶をする。	T-SS T-S	
5分	・指導者の動作を見て、それが何をしているところか答える。	・ジェスチャークイズをすることを告げる。 野球をする、サッカーをする、料理をするなどの動作をし、それが何をあらわしているか尋ねる。 ・児童の答えを取り上げて、その英語での言い方を紹介詩、絵カードを黒板に貼る。	T-SS	動作絵カード
10分	・指導者が言う動作を表す表現を繰り返して言い、キーフレーズが聞こえたら繰り返さず、二人の間に置いた消しゴムを取る。	・キーフレーズゲームをすることを告げる。 やり方を、ジェスチャーを交えて説明する。 ペアになり、二人の間に消しゴムを置かせる。キーフレーズを全員で確認し、動作を表す表現を言う。	T-SS S-S	動作絵カード

・(評価規準) <評価の方法>

活動の種類

T= The Teacher (指導者)

S:=A student (一人の児童)

SS=Students (複数の児童)

T-SS=The teacher talking to all students(指導者が全児童に話している活動)

T-S=The teacher talking to an individual student(指導者が一人の、或いは、一人ずつの児童に話している活動)

S-T=An individual student talking to the teacher(一人の或いは、各児童が指導者に話している活動)

SS-T=All students talking to the teacher(全児童が指導者に話している活動)

S-S=pair-work(ペアワーク)

SS-SS=group work(グループワーク)